口永良部島の火山活動による被害状況等について(第1報)

※ これは速報であり、数値等は今後変わることもあります。

1 火山活動等の状況(気象庁2月28日13時40分現在)

- 〇 口永良部島では、21日から主に新岳火口付近の浅いところが震源と推定される火山性地震が多い状態が継続し、火山活動が高まっており、火口周辺警報(噴火警戒レベル3、入山規制)を発表。
- 新岳火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒。また、向江浜地区から新岳の南西にかけての火口から海岸までの範囲では、火砕流に警戒。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らない。

2 体制

〇警戒体制: 気象庁

〇注意体制:本省、国土地理院、九州地整、九州運輸

3 人的被害等

〇人的被害:被害情報なし

4 国土交通省関連の被害状況

〇現時点で被害情報なし

5 国土交通省の対応

- 〇ホットライン
 - ・九州地整 鹿児島港湾空港事務所長より屋久島町長へ実施(14:45)
 - ※現時点で被害なし、支援の要請はなし。
- ○気象庁が会見を実施(15:00)

問合先:水管理・国土保全局防災課災害対策室 小林

代 表:03-5253-8111 内線35-822

直 通:03-5253-8461